

「高城プライド」 ～心と形を整える～

令和3年4月9日(金) NO2 文責 木下 文秋

高城プライド～心と形を整える

高城中に赴任して「高城プライド～心と形を整える」という言葉を生徒に贈ることにし、学校便りのタイトルにも据えました。プライドとは「誇り」を意味します。高城中の生徒には「誇り」をもってほしいと願ってやみません。その誇りとは「勉強では負けない」とか「走りの速さでは一番」といった素質や天性の素材で勝負するものではありません。「心と形を整える」ということを私は次のように整理をしています。「心」とは『優しくて素直でたくましい心』を意味します。悩める友に寄り添える優しい心、自分を正しく導いてくれる人の話をきちんと聞ける素直な心、困難や苦境に負けないたくましい心を整える努力をしてください。生徒の皆さんが豊かな心を身に付ければ、差別やいじめのない素晴らしい学校になると信じています。「形」とは『誰に対しても挨拶と返事ができる人としての形』を意味します。中学生の時期は人格を形成する大事な時期です。この一年間でいつでも誰にでもきちんと挨拶と返事ができる「人としての形」を身に付けて欲しいという願いを込めています。その「心と形」を整える努力を重ねることが皆さんの誇りです。生徒の皆さん、自分を成長させるための努力を怠ってはいけません。そして、自分と他人を比較してはいけません。人にはそれぞれ個性があり長所も短所もあります。人より劣るところを卑下（ひげ）（見下すこと）したり、自分はだめな人間だと決めつけたりしてはいけません。誰でもプライドを持って努力をすることで成長することができます。三年生の皆さん。皆さんにとって卒業までのカウントダウンが始まりました。最後の中体連、最後の体育大会、最後の文化祭を迎えます。一人の生徒の授業態度や生活態度の質が落ちれば、全体の質も必ず落ちていきます。学校とは世の中とはそういうものです。これから地区のテストが始まり、三者面談、オープンスクール等入試に向けた動きも慌ただしくなります。どうか最高学年としての誇りを胸に学校を背負ってください。三年生の頑張る姿、真剣なまなごしを後輩は見て、自分たちも頑張ろうと決意します。これが伝統です。生徒の皆さん、高城プライドで高城中の伝統を築いてください。そのためには、4月は極めて重要です。保護者の皆様、新年度が始まり新しいメンバーで努力して参りますので、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。